

青森県医師会 活動報告

「医師支援について」

令和7年10月18日(土)
日本医師会女性医師支援・ドクターバンク連携
「北海道・東北ブロック会議」

青森県医師会医師就労環境整備事業

男女共同参画委員会

- ・年2回開催
- ・委員: 11名
担当役員: 4名

ワークライフバランス推進室

- ・旧)女性医師支援室(29年度から名称変更)
- ・医師相談窓口担当者4名(R7から3名増員)、担当役員4名
- ・運営会議を月に1回開催
- ・男女共同参画委員会の下部組織として、医師相談の受付、研修病院訪問、ニュースレターの編集等を担う

主な支援事業

復職・再研修支援体制、キャリアアップ支援体制

医師相談窓口のご案内



[電話]

受付時間：月～金/9:00～17:00
専用フリーダイヤル: 0800-800-1400

[メール]

受付時間：24時間
e-mailアドレス: ishi-ouen@aomori.med.or.jp

[面談]

電話・メールにてご連絡ください。
日程調整後、県医師会館にて担当医師が
対応いたします。



←スマホからホームページに
アクセスできます！



URL: <https://ishi-ouen.com/>

※医師会員でない先生でも相談できます。

※お預かりした個人情報については、本人に同意なく第三者に開示することはありません。



研修会等での託児室設置補助

令和7年度

申請数：3件（助成数：1件）

対象：県内で開催される研修会及び講習会で、青森県医

師会が共催、後援するもの

および、郡市医師会が主催、共催、後援するもの

補助内容：会場に設置した託児室の費用、保育を依頼

するサポーターに係る費用

託児を受ける子どもに対する傷害保険料

ワークライフバランス推進室 「赤いりんご」

News Letter

青森県医師会ワークライフバランス推進室 News Letter 第86号 R.7.8.15発行

赤いりんご vol.86

月号の内容

活動報告

2025年度青森県医師会・弘前大学医学部男女共同参画セミナー

令和7年7月9日(水) 弘前大学医学部学生支援センター2号棟

青森県医師会と弘前大学医学部との共催のもと、男女共同参画セミナーを開催いたしました。

本会富山副会長の挨拶に続き、工藤常任理事より医師会の活動紹介を行いました。今年度は第1部・第2部ともに、医学科1年生を対象とした「臨床医学入門」の授業として開催しました。

第一部は特別講演として、長崎大学病院高度救命救急センター講師の高橋健介先生にご講演いただき、第2部ではテマを「医師の働き方とキャリア形成」として、「さんかくダイアログ」コラボ企画のグループ討議が行われました。第1部、2部合わせて104名の医学生と21名の医師にご出席いただき、盛会裏に終了いたしました。

特別講演 Think Globally, Act Locally～地域医療から国際保健を考える～

長崎大学病院高度救命救急センター
急救・国際医療支援室
講師 高橋 健介 先生

目標や興味は変わっていくが、その過程で勉強したことはいつか必ず役に立つ
若いときには色々苦労するべき、苦勞が報われるものが必ず来る
医療を持つている人らるのは、国内でも海外も同じ
英語をはじめとした多言語スキルの鍛錬
医療資源が乏しい環境で診断検査ができるように身体所見をとる技術を磨こう
歴史や文化の探求は、その後住む人や異なる世代とのコミュニケーションツールになれる
多職種への理解と連携は患者さんにも益をもたらす

第1部の特別講演では、高橋先生が学生時代の経験、研修医時代に触れた海外医療や離島医療、そして国境なき医師会に参加してからの海外での経験など様々なお話をいただきました。講演最後には医学生へ向け多くのメッセージもいただきました。

医師相談窓口のご案内

青森県委託事業(医師の働きやすい環境づくりへの支援事業)

青森県医師会では、お忙しい医師の皆様のために、各種保育サービスの情報提供や、育児休業制度等に関する相談を受け付けております。

〇保育サービス情報提供

・ベビーベッキの購入販売
・産後育児支援等についてこちらはある?
・産後育児支援等についてこちらはある?
・赤ちゃんからお風呂に入らし!子どもが我慢できない所はある?
・新生児育児相談についてこちらはある?
・お風呂場外開け時間はメール-FAXまで受け付けます
お問い合わせされた個人情報は、ご本人様の同意なく第三者に開示することはありません。

〇医師就職などの各種相談

・育児が一時的に止まってしまうのが不思議…
・日本医師会の就職支援にパンくずしになるには?
・新規開業から半年で閉院してしまう所はある?
・新規開業から半年で閉院してしまう所はある?
・新規開業から半年で閉院してしまう所はある?
・新規開業から半年で閉院してしまう所はある?

東洋用リリーフダイヤル:0800-800-1400
東洋用FAX:0800-800-1315
FAX:017-7118-3152
E-mail: info@asonec.acmed.or.jp
<http://www.asonec.acmed.or.jp/jessell/index.htm>

青森県医師会ワークライフバランス推進室 News Letter

第85号 R7.6.15発行

赤いりんご vol.85

木々の緑が色濃くなる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。日々の寒暖差により、体調を崩しやすい時期でもありますので皆様どうぞ自愛下さい。

今月号の内容

- ・第4回弘前市医師会・弘前大学医師会 地域医療懇談会・懇親会報告
- ・在宅医療・訪問診療についての求人
- ・青森地域研修医迎候会報告
- ・臨床研修医会員訪問報告
- ・日本医師会第19回男女共同参画フォーラム報告

活動報告

- ・4/24 5月ワークライフバランス推進会連催会
- ・5/8 臨床研修病院等訪問(八戸市立市民病院)
- ・5/9 日医第3回男女共同参画委員会
- ・5/17 第19回男女共同参画フォーラム
- ・5/27 5月ワークライフバランス推進会連催会

第4回弘前市医師会・弘前大学医師会研修医地域医療懇談会・懇親会報

令和7年4月5日17:30～フォルトナーにて開催されました。この会は2018年度(平成30年)から開催されているもので、弘前地区の研修医を歓迎するとともに、広く地域医療に携わる青森県医師会・弘前市医師会の役員からの医師会活動の紹介と、先方との情報交換をしながら今後の医療活動に役立てていただくことを目的として開催されています。

会の初めに弘前市医師会会長崎崎良樹先生、弘前大学医師会会長添藤聰志先生、弘前大学医学部医学研究科長石橋恭之先生からご挨拶を頂きました。懇談会では崎崎先生から弘前市医師会の活動について」また、弘前市医師会総務理事伊東重豪先生から「弘前

増田病院副院长/青森県医師会常任理事 工藤 史市医師会の在宅医療への取り組み」、青森県医師会から「青森県医師会について」のお話があり、さらに市医師会員の皆さんから一言ずつコメントを頂きました。音楽直接お会いすることのない先生方からの話が新鮮でした。研修医の皆さんにとっても医師の活動を知って頂く機会になったと思います。

【急募】在宅医療・訪問診療にご興味のある先生

一般社団法人AMR理事長/おひさま在宅クリニック八戸院 井上 比

在宅医療・訪問診療にご興味のある先生を募集しております。

経験の有無を問わず、転科希望の方も応募可能となっており、

経験豊富なスタッフが丁寧を活用してサポートしますので、是非ご検討下さい。

在宅医療・訪問診療は新規開業も望めるこれからの医療分野です。

将来独立開業を目指す先生へのアドバイスも致します。

詳しいはWebサイトをご覧ください：<https://www.ohisama8.org>

お問い合わせ：8iyashinomori@gmail.com

QRコードから
Webサイトを
ご覧ください

医師相談窓口のご案内

～青森県委託事業（医師の働きやすい環境づくりへの支援事業）

青森県医師会は、お忙しい医師の皆様のために、各種保育サービスの情報提供や、

児童育休制度や復帰などに関する相談を受け付けています。

○保育サービス情報提携

・ペディカーサーをほしい

・発育外来をついていろいろある?

・医師から必要な情報などはどこで教えてくれる所がある?

※相談室での直通での連絡も行っております。（医師が必ず必要です。）

医師会員入会料・会員登録料・医師登録料は別途必要でございます。

※電話による相談は不可です。

○医師就業などの各種相談

・育児が一時停止のため就業したいが不安…

・日本医師会の就業規則について詳しく知りたい…

・医師登録の問題などについて詳しく知りたい…

※相談室での直通での連絡も行っております。（医師が必ず必要です。）

医師会員入会料・会員登録料・医師登録料は別途必要でございます。

※電話による相談は不可です。

専用フリーダイヤル：0800-800-1400
専用FAX：080-9111-1700
FAX：017-718-3132

E-mailアドレス：tbl-conn@zenmed.or.jp

URL：<http://www.zenmed.or.jp/jessell/index.htm>

※受付時間外の際は電子メール・FAXまで受け付けております。

お問い合わせ用E-mail番号は、ご本人様の興味ある業種に応じて選択して下さい。

青森県医師会ワークライフバランス推進室 News Letter

第84号 R7.4.15発行

赤いりんご vol.84

厳しかった冬も過ぎ去り、すっかり春の暖かさとなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。桜もこれから見頃となります。朝夕の寒暖差に気を付けてながら、皆様春を楽しみましょう。

月号の内容

- ・臨床研修病院等訪問(つがる総合病院)
- ・日医第2回男女共同参画委員会報告
- ・令和6年度医師相談窓口担当者連絡会報告

活動報告

- ・2/18 2月ワークライフバランス推進室運営会議
- ・2/27 令和6年度医師相談窓口担当者連絡会
- ・3/27 3月ワークライフバランス推進室運営会議

臨床研修病院等訪問(つがる総合病院)

令和7年2月12日(水)

本会役員より医師会事業を紹介後、「憧れの先輩像」を出席者に尋ねる形で、今回の意見交換がスタートした。

上級医は「時間に關係なく、患者のために働くことが理想だった」と振り返った。そして研修医からは、「仕事を誇りを持ちながら、プライベートの時間を確保してワークライフバランスを取りたい」、「現時点で、具体的なライフプランは考えていない」といった回答があつた。

本会役員より、仕事とプライベートの両立という点で、青森県で動くリリースは「医師同士の顔の見える関係が築きやすく、自分の状況を理解して配慮してもらえること」、「勤務時間が短く、病院の近くに住むことで、子どもの送り迎えなどに時間を取られることがない」と挙げた。

また、別の役員は自身の経験から「育児に関して、特段困ったと感心したことがない」。これは困ったときには早めに周囲に相談し、沢山の方に助けてもらったため、結果的に困ったことがないのだと思う。まずは、「困った」と周囲に相談することで支援につながるので、遠慮せずにどんどん声を上げてほしい」と呼びかけた。

その他、産休育休で常勤医が休む場合どのように対応しているか伺った。院長によると「科によって異なるが、大学病院に応援をお願いして対応している。最近は女性の消化器外科医を育てており、産休・育休の取得者が増えることを想定して対応している」とのことだった。

さらに、他院の「1年以上働きなければ産休・育休を取得できない」というケースを紹介すると、周長より「妊娠した状態で女性医師が入局し、1年内に産休を取得した事例がある」。1年内でも産休・育休は取得可能だと回答があった。

また本会の医師相談窓口担当者として、二川原副院長に就任をお願いしたところ、ご快諾いただいた。

医師相談窓口のご案内

～青森県委託事業（医師の働きやすい環境づくりへの支援事業）～

青森県医師会では、お忙しい医師の皆様のために、各種保育サービスの情報提供や、育児休業制度や育休などに関する相談を受け付けております。

○医療サービス情報提供

・ペディクリアを開設しているところはどこですか？

・歯科医院で育児やむづくみはある？

・産婦人科で育児やむづくみはある？

・産科医の出産助産師は誰ですか？

・産科医の出産助産師は誰ですか？

・産科医の出産助産師は誰ですか？

・産科医の出産助産師は誰ですか？

○医師就職などの各種相談

・青森県で開設している医療法人社団はどこですか？

・日本医師会の女性医師会に登録するには？

・産科医の出産助産師は誰ですか？

・産科医の出産助産師は誰ですか？

・産科医の出産助産師は誰ですか？

・産科医の出産助産師は誰ですか？

・産科医の出産助産師は誰ですか？

・産科医の出産助産師は誰ですか？

専用フリーダイヤル：0800-800-1400
専用FAX：080-718-3156
E-mailアドレス：hak-senmu@acmnet.mext.go.jp
URL：http://www.acmnet.mext.go.jp/index.html

※専用時間外時間はメール-FAXでお受けします。
FAX：080-718-3156

※専用時間外時間はメール-FAXでお受けします。
お問い合わせの個人情報は、ご本人様の同意なく第三者に開示することはございません。

青森県医師会・弘前大学医学部 男女共同参画セミナー

令和7年度
7月9日(水)開催

開催形態
特別講演 + グループ討論

昨年度と同様に、大学の授業の一コマ
をいただいて開催。
来年度よりセミナーのみの形式にて開
催予定。



第1部:特別講演



Think Globally, Act Locally ～地域医療から国際保健を考える～

長崎大学病院高度救命救急センター
救急・国際医療支援室
講師 高橋 健介 先生

第2部:グループ討論

「医師の働き方とキャリア形成」をテーマとし、各テーブルごとに医学生、研修医、医師など多様な立場のメンバーで情報・意見交換がなされた。

出席者：約125名

医学生 104名

医師(勤務医・開業医、大学教授含む) 21名

他、研修医数名が参加

アンケート結果

- ・医師を目指す上での視野が広がった、出席して良かった等のポジティブな感想が多くかった。
- ・仕事と妊娠や出産の両立といった女性医師としての今後の生き方について深く考えさせられた、男女共同参画に対する意識が上がった等の感想があり、主催した側としても開催する意義を感じることができた。

来年度開催について

来年度は授業時間内でのセミナー及びグループ討論の時間配分の難しさが問題として挙げられたため、セミナーのみの形式にて開催予定。

研修病院訪問

日 時:令和7年5月8日(木)18:00～
訪問場所:八戸市立市民病院

○自己紹介

○医師支援事業の紹介

男女共同参画委員会
ワークライフバランス推進室
女性医師バンク など

○意見交換



医師相談窓口受付数 (令和6年度)

○医師相談・・・32件

相談内容

- ・休職後の就業相談
- ・研修医・常勤医の勤務内容について
- ・研修医・常勤医の休暇取得に関して
- ・研修医の当直勤務に関して

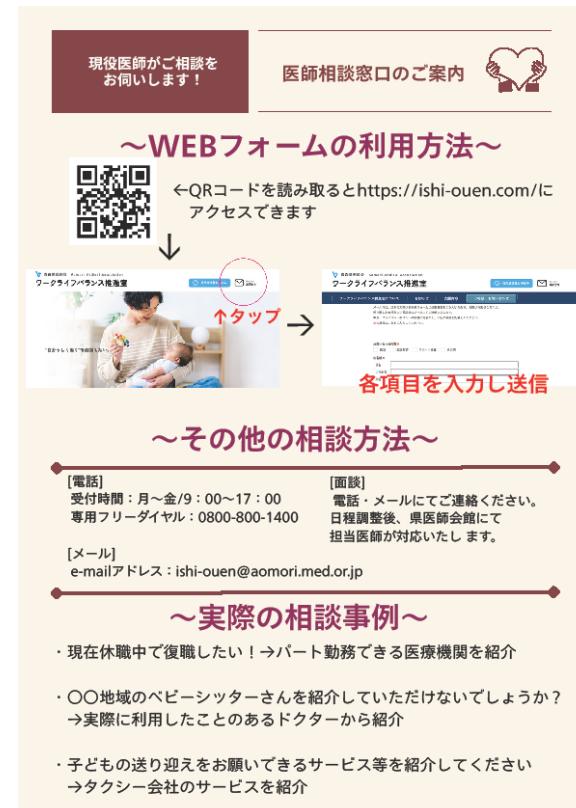
医師相談窓口運営業務担当者周知について

・県内臨床研修病院等に配布し、相談窓口担当者を周知予定

表面



裏面



青森県医師会に寄せられた相談事例

- ・〇〇地域のベビーシッターさんを紹介していただけないでしょうか？

①全会員にチラシを送付し情報提供依頼

②Googleフォームにて情報提供を受付

③青森県医師会会員より、利用経験のあるベビーシッターの情報提供があり、紹介した



青森県医師会に寄せられた相談事例

- ・子どもの送り迎えをお願いできるサービス等を紹介してください

①ホームページの問合せフォームより
相談あり

②ワークライフバランス推進室運営会議
にて協議

③タクシー会社で行っているサービス
「子育て支援タクシー」を紹介

サービス内容: お子さんの迎えに行けないときに、
タクシー会社が送迎を代行する…等

The screenshot shows a webpage for 'Kinsen Baby Support Taxi'. At the top, there's a logo of a pregnant woman and a baby, followed by the text '妊婦さん支援タクシー'. Below this is a photo of a pregnant woman and a man. The main text on the page reads: 'ひとりでいる時に陣痛がきたらどうしよう…もう心配しなくても大丈夫! 私たちが迅速に病院へお連れします!' (When阵痛 comes alone, what should I do... Don't worry anymore! We will quickly take you to the hospital!). There are two buttons: 'リーフレットで詳しく見る' (View brochure) and '要事前登録' (Pre-registration required). A '1割引き' (10% discount) button is also present. At the bottom, there's a 'WEBお申込みはこちら' (Apply online here) button. To the right of the main content, there are three sections: '子育て支援割引' (Parenting support discount), '免許返納者割引' (Driver's license suspension discount), and 'ケアクラブ割引' (Keaku Club discount). Each section has a brief description and a small icon.

青森県医師会に寄せられた相談事例

- ・非常勤勤務になり社会保険に加入できず、
(国民健康保険が高額のため)困っている。
- ①臨床研修病院等訪問の際に相談を受ける
 - ②他県の状況を調査し、他県では非常勤医師でも医師国民健康保険組合に加入できることが分かった
 - ③青森県でも非常勤医師が医師国民健康保険組合に加入できるように会長(医師国保理事長)を通じて実現した(3役会にて提言、理事会にて承認)

青森県医師会に寄せられた相談事例

・休職中の医師より復職について相談

- ①医師相談窓口運営業務担当者より本会役員(開業医)に相談
- ②週3日クリニックでパート勤務をしてもらい、学会参加や研修会への参加、技術の習得を積極的に推奨し、復職支援に繋げることが出来た

医師相談窓口担当者連絡会

○昨年度開催実績

- ・育児休暇を取得した男性医師の対談

日 時: 令和6年10月18日(木)

対談内容: 育児休暇取得体験談について

- ・医師相談窓口担当者連絡会

日 時: 令和7年2月27日(木)

議 題: 医師の育児休暇取得に関するアンケート結果報告

○今年度開催予定: 10月 医師の育児と働き方にかかる対談

2～3月 医師相談窓口担当者連絡会

今年度の活動のまとめ

昨年度、様々な立場の女性医師に対して支援を受けやすい環境を作ることを支援の工夫として掲げた。

今年度は医師相談窓口担当者を増員し体制強化に努めた。

今後も医師に寄り添った支援できるよう、継続して病院訪問・対談企画を実施していきたい。